

えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト



江戸硝子 中村 弘子 Hiroko Nakamura

「江戸硝子」とは、江戸時代からの伝統を受け継ぎ、一つひとつ手造りで製造される硝子の伝統工芸品です。1400 ほど高温で溶かされた硝子を鉄製の棹で巻き取り、吹く・押す・延ばす等して手作業で形作られます。中村氏がコーディネートを務める中金硝子総合株式会社では、中が透明、外が青色などの二色の硝子を重ねて吹く“色被硝子(いろさせがらす)”を製作しています。

2019 年度 新作紹介

(価格記載作品は「えどコレ！」にて順次販売予定。掲載価格は 2020 年 1 月現在の税込価格です。)

彩くら -sakura-



ぐい呑みピンク 4,180 円 ぐい呑み緑 4,400 円
デザイン：女子美術大学 石井 はる佳

夢見鳥の舞



皿 11,000 円 はし置き 3,850 円
デザイン：女子美術大学 山岸 佑圭

咲



皿 17,600 円
デザイン：女子美術大学 柿原 寛子

癒しの時間



タンブラー 8,800 円 ロックグラス 9,900 円
デザイン：女子美術大学 大石 愛佳

バンブル籠目



バンブル 各 11,000 円
デザイン：女子美術大学 渡辺 千史